

くろちく 八竹庵(旧川崎家住宅)

1999年:京都市指定有形文化財に指定。京都府医学史研究会跡にも指定されている。
大正時代び 最先端技工と流行を取り入れた、歴史的に貴重な 和洋折衷の 町家建築。
大正当時流行「フランクロイドライト様式」を洋間に採用した、京都伝統的な「大塀造（だいべいづくり: 道に面して塀を立たせ、奥に建物が建つ）」。
江戸後期に医院として建築、大正 15年、「四代目 井上利助」が贅限りを尽くし新築し現在形に。
後に、白生地を扱う呉服商 川崎氏住宅兼迎賓館となり、現在株式会社くろちくが管理。
庭に面した「波打ちガラス」、建築当初から現存。**現在製作できる技術者がいないため扱いに注意！**
通常時入館料:¥1700。KG開催中、無料開館のため、建築好きな一般方のご来場される可能性が高い。
八竹庵目当て方に八竹庵パンフレットをお渡しする。

参照:「くろちく」<https://www.kurochiku.co.jp/hachikuan/>

「KENOHARE」<https://www.kenohare.com/hachikuan>

普段の営業概要

開館時間: 10:00 ~ 17:00 (受付終了 16:30)

休館日: 木曜日 (貸切や臨時休館の場合が御座いますのでInstagramをご確認くださいませ)

入館料: 一般¥1700 中高生 ¥500 小学生 ¥200

団体(10名以上)

一般 ¥1600 中高生 ¥400 小学生 ¥100

※一般のお客様ご入館につきましては「文化財保護継承協力金」¥1,000 を含んでおります。

みなさまのご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。